

令和3年度
第1回区民アンケート報告書

大阪市鶴見区役所

目 次

■ アンケート概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
1. 鶴見区の魅力について	
問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代の皆さまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。 あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。	5
2. 安全で住みやすいまちづくりについて	
問2 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。 知っている防犯事業を選んでください。	6
問3 (問2で1～5を選択された方へ) 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。	7
問4 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業(子育て層、高齢者、幼児、児童、中・高校生など各対象別の交通安全教室などの交通マナーを高める取組み)を行っています。 知っている交通安全対策事業を選んでください。	9
問5 (問4で1～3を選択された方へ) あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。	10
問6 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。	11
3. 子育てについて	
問7 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。	13
問8 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。 -	15
問9 (問8で「1 いる」と回答された方へ) 区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。	16
問10 (問8で「1 いる」と回答された方へ) あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。	17
問11 (問8で「1 いる」と回答された方へ) 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」やSNS(フェイスブック、ツイッター)を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。 -	18

4. まなびを通じたつながりづくりについて

- 問 12 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。
あなたはこれらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。_____ 19
- 問 13 あなたは鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。_____ 20
- 問 14 (問 13 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。_____ 22
- 問 15 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。
あなたはこれらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。_____ 23
- 問 16 あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。_____ 24
- 問 17 (問 16 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。_____ 26
- 問 18 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。_____ 27
- 問 19 あなたは、SDGs の達成に向けて日頃から取り組んでいることはありますか。_____ 29

5. 鶴見区全般について

- 問 20 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。— 31

アンケート調査票_____ 33

■アンケート概要

（１）第１回区民アンケートの目的

区民の皆さんがお互いに支えあい、だれもが安心して暮らせるまちの実現に向け、鶴見区の魅力について、安全で住みやすいまちづくりについて、子育てについて、まなびを通じたつながりづくりについてなど、広く区民の皆さんにお伺いし、今後の施策の進め方の参考にさせていただきます。

（２）区民アンケートの実施状況

実施期間	：令和３年１２月１４日（火）～１２月２８日（火）
実施方法	：郵送によるアンケート・インターネットによる回答
対象者	：１８歳以上の鶴見区民から無作為抽出 １,０００名
回答者数	：４８１名
宛先不明返戻分	：１２名
回答率	：４８.７％

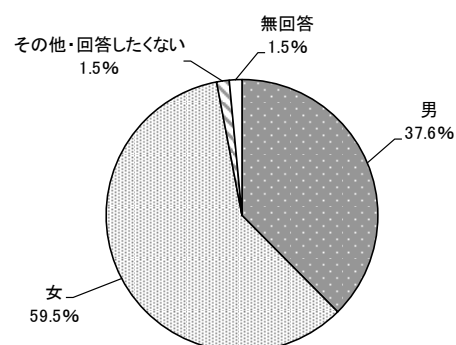
（３）報告書に関する留意点について

回答構成比（％）は、設問ごとの回答者数を１００％として、各実数をもとに算出した数値の少数第２位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が１００％と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

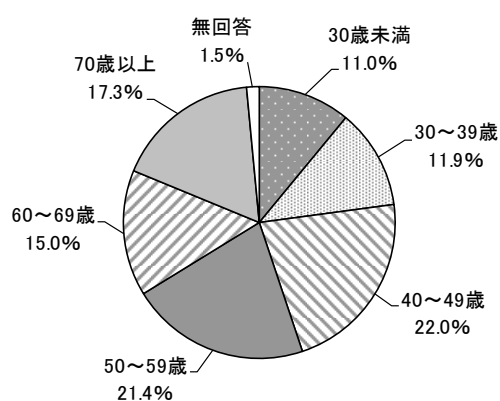
性 別

	n 数	男	女	その他・ 回答したくない	無 回 答
回答者計 (名)	481	181	286	7	7
回答者計 (%)	100.0	37.6	59.5	1.5	1.5



年 齢

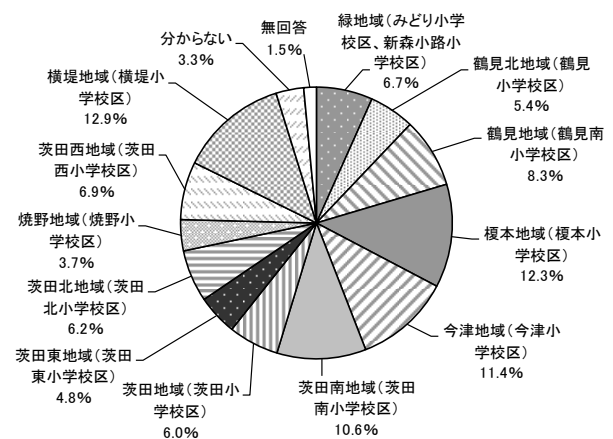
	n 数	3 0 歳 未 満	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 9 歳	7 0 歳 以 上	無 回 答
回答者計 (名)	481	53	57	106	103	72	83	7
回答者計 (%)	100.0	11.0	11.9	22.0	21.4	15.0	17.3	1.5



地 域

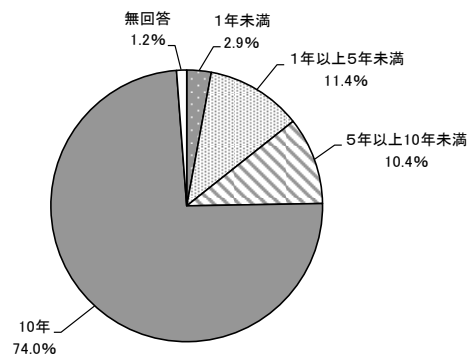
	n 数	緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）	鶴見北地域（鶴見小学校区）	鶴見南地域（鶴見南小学校区）	榎本地域（榎本小学校区）	今津地域（今津小学校区）	茨田南地域（茨田南小学校区）	茨田地域（茨田小学校区）	茨田東地域（茨田東小学校区）	茨田北地域（茨田北小学校区）	焼野地域（焼野小学校区）
回答者計（名）	481	32	26	40	59	55	51	29	23	30	18
回答者計（%）	100.0	6.7	5.4	8.3	12.3	11.4	10.6	6.0	4.8	6.2	3.7

	茨田西地域（茨田西小学校区）	横堤地域（横堤小学校区）	分からない	無回答
回答者計（名）	33	62	16	7
回答者計（%）	6.9	12.9	3.3	1.5



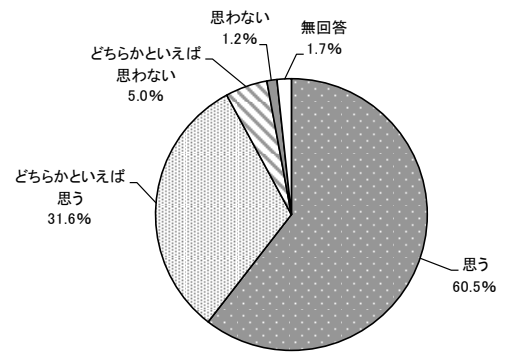
居 住 年 数

	n 数	1 年未満	1 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年	無回答
回答者計（名）	481	14	55	50	356	6
回答者計（%）	100.0	2.9	11.4	10.4	74.0	1.2



鶴見区に住み続けたいか

	n 数	思 う	ど ち ら か と い え ば 思 う	ど ち ら か と い え ば 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
回答者計 (名)	481	291	152	24	6	8
回答者計 (%)	100.0	60.5	31.6	5.0	1.2	1.7



【全体的傾向】 「思う」(60.5%)、「どちらかといえば思う」(31.6%)と92.1%の方が鶴見区に住み続けたいと思っている。

【年齢別傾向】 30歳未満では「どちらかといえば思う」(49.1%)が最も多い。他の年代で「思う」が最も多く、最多は70歳代以上(74.7%)。

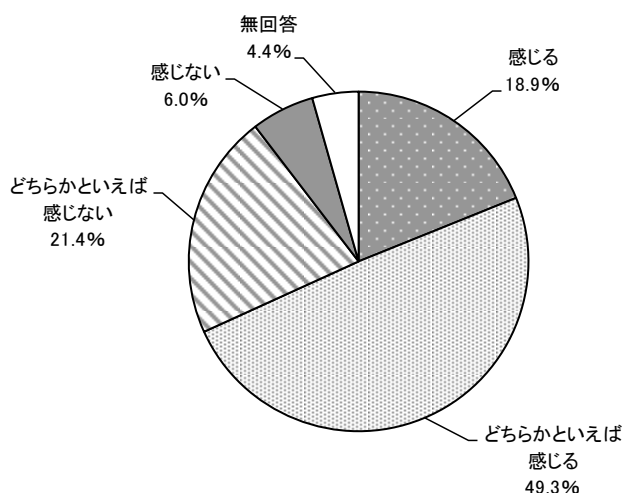
【居住年数別傾向】 1年未満では「どちらかといえば思う」(50.0%)が最も多い。その他の居住年数では「思う」が最も多く、最多は10年(65.2%)。

【地域別傾向】 全ての地域で「思う」が最も多く、最多は荻田北地域(73.3%)。

1. 鶴見区の魅力について

問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代の皆さまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。
あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。（1つ選んでください）

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえば 感じない	感じない	無 回 答
回答者計 (名)	481	91	237	103	29	21
回答者計 (%)	100.0	18.9	49.3	21.4	6.0	4.4



【全体的傾向】 「感じる」(18.9%)、「どちらかといえば感じる」(49.3%)と68.2%の方が鶴見区は魅力あるまちだと感じている。

【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は30代(56.1%)。

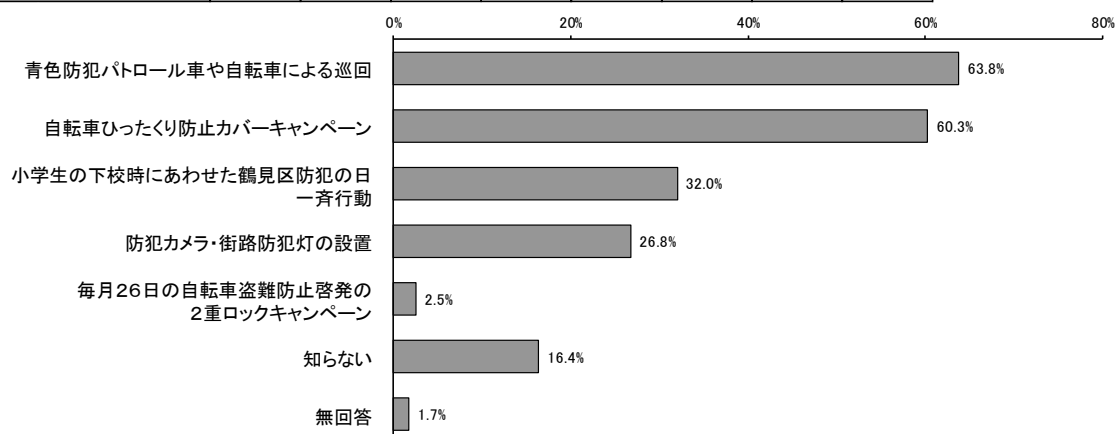
【居住年数別傾向】 1年未満では「どちらかといえば感じない」(50.0%)が最も多い。その他の居住年数では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は5年以上10年未満(52.0%)。

【地域別傾向】 鶴見北地域では「どちらかといえば感じない」(30.8%)が最も多い。その他の地域では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は茨田北地域(63.3%)。次いで、榎本地域、茨田西地域、焼野地域は「感じる」が「どちらかといえば感じない」を上回っている。

2. 安全で住みやすいまちづくりについて

問2 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。
知っている防犯事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

	n 数	青色防犯パトロール車や自転車による巡回	小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日 — 斉行動	自転車ひったくり防止カバーキャンペーン	防犯カメラ・街路防犯灯の設置	毎月26日の自転車盗難防止啓発の2重ロックキャンペーン	知らない	無回答
回答者計（名）	481	307	154	290	129	12	79	8
回答者計（%）	100.0	63.8	32.0	60.3	26.8	2.5	16.4	1.7



【全体的傾向】 「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」(63.8%)が最も多く、次いで「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」(60.3%)が多い。

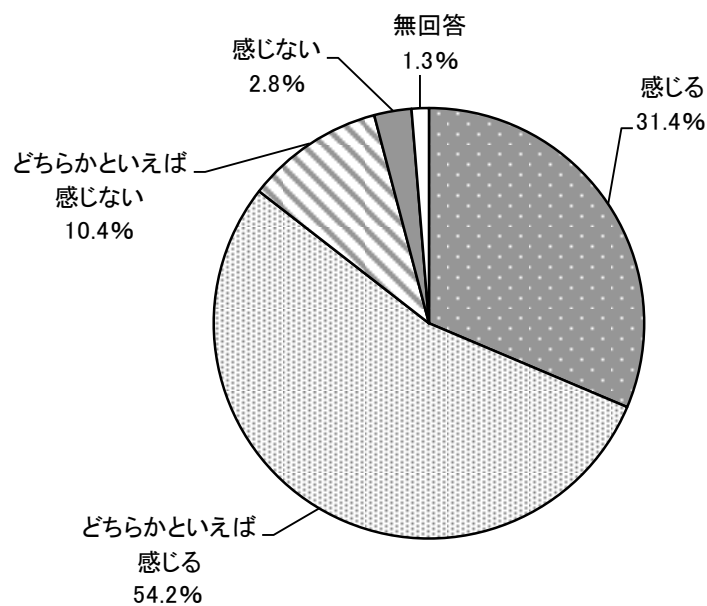
【年齢別傾向】 30歳未満、70歳以上では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多い（それぞれ56.6%、74.7%）。30歳代、40歳代では「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」が最も多い（63.2%、60.4%）。

【居住年数別傾向】 1年未満は「知らない」(64.3%)が最も多い。5年以上10年未満では「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」(56.0%)が最も多く、その他の居住年数では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多い〔10年以上(69.7%)、1年以上5年未満(45.5%)〕。

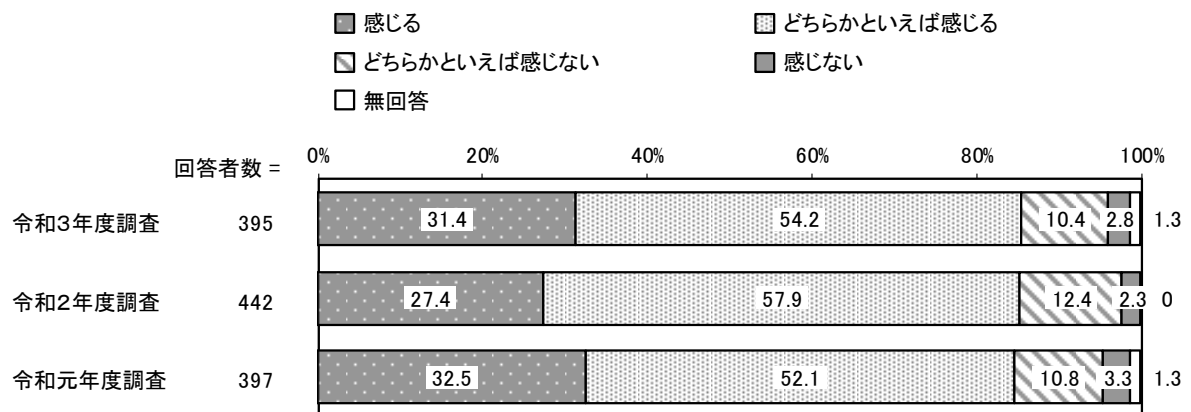
【地域別傾向】 鶴見北地域、茨田地域、焼野地域、横堤地域では「自転車ひったくり防止キャンペーン」が最も多く、最多は茨田地域(65.5%)。その他の地域では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多く、最多は茨田北地域(83.3%)。榎本地域では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」が同数(67.8%)であった。

(問2で1～5を選択された方へ)
 問3 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。
 (1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえば 感じない	感じない	無 回 答
回答者計 (名)	395	124	214	41	11	5
回答者計 (%)	100.0	31.4	54.2	10.4	2.8	1.3



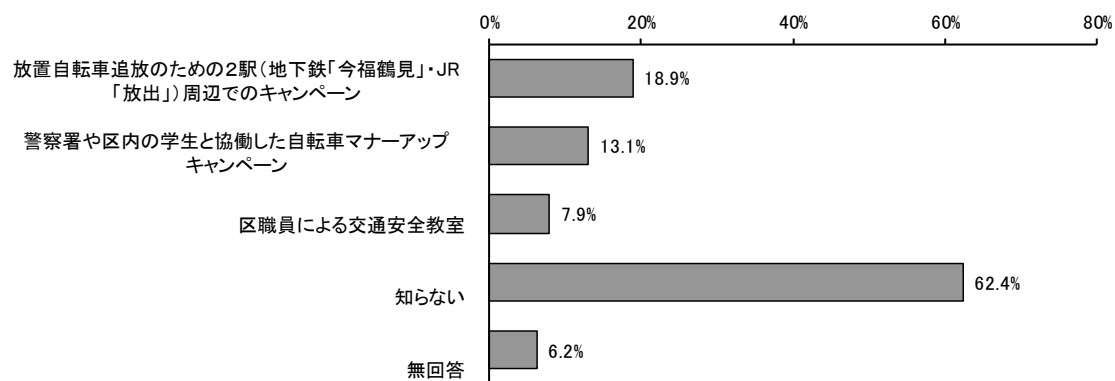
【前回調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(31.4%)、「どちらかといえば感じる」(54.2%)と85.6%の方が鶴見区で実施している防犯事業が犯罪抑止につながっていると感じている。
- 【経年比較】 令和2年度調査、令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は30歳の59.1%。
- 【居住年数別傾向】 回答数5の1年未満を除き、全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年以上5年未満(60.5%)。
- 【地域別傾向】 荻田地域では「感じる」と「どちらかといえば感じる」が同数(43.5%)で、それ以外の地域では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は荻田北地域(70.4%)。

問4 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業（子育て層、高齢者、幼児、児童、中・高校生など各対象別の交通安全教室などの交通マナーを高める取り組み）を行っています。
知っている交通安全対策事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

	n 数	区職員による 交通安全教室	警察署や区内の学生と 協働した自転車マナー アップキャンペーン	放置自転車追放のための 2駅（地下鉄「今福鶴見」・JR「放出」） 周辺でのキャンペーン	知らない	無回答
回答者計（名）	481	38	63	91	300	30
回答者計（%）	100.0	7.9	13.1	18.9	62.4	6.2



【全体的傾向】 「知らない」（62.4%）が最も多い。事業を知っている中では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」（18.9%）が最も多い。

【年齢別傾向】 全ての年代で「知らない」が最も多く、最多は30歳代（71.9%）。事業を知っている中では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」が最も多く、最多は70歳以上（32.5%）。

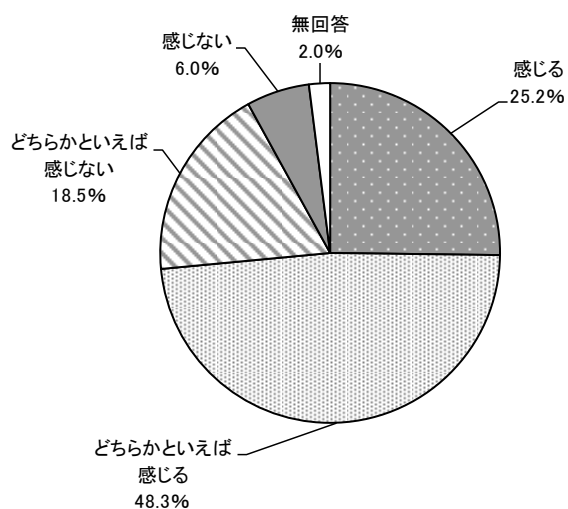
【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知らない」が最も多く、最多は1年未満（92.9%）。事業を知っている中では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」が最も多く、最多は10年以上（20.8%）。

【地域別傾向】 榎本地域では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」（49.2%）が最も多い。その他の地域では「知らない」が最も多く、最多は横堤地域（79.0%）。

問5 (問4で1～3を選択された方へ)

あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえば 感じない	感じない	無回答
回答者計 (名)	151	38	73	28	9	3
回答者計 (%)	100.0	25.2	48.3	18.5	6.0	2.0



【全体的傾向】 「感じる」(25.2%)、「どちらかといえば感じる」(48.3%)と73.5%の方が鶴見区で実施している交通安全対策事業が交通マナーの向上につながっていると感じている。

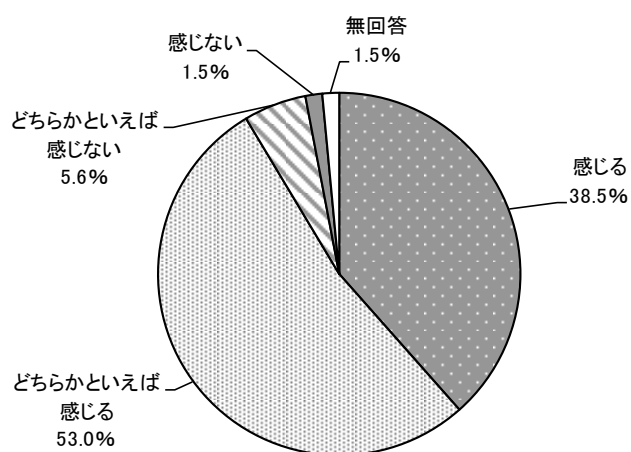
【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は40代(56.7%)。

【居住年数別傾向】 回答数0の1年未満を除き、全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は1年以上5年未満(54.5%)。次いで「感じる」が多く、最多は5年以上10年未満(36.4%)。

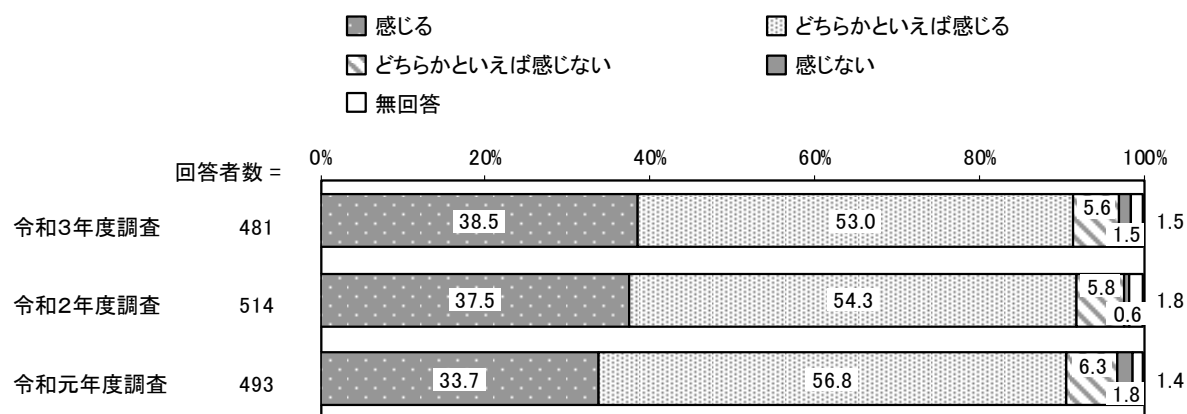
【地域別傾向】 緑地域、茨田地域、茨田東地域では「感じる」が最も多く、最多は茨田東地域(57.1%)。今津地域では「どちらかといえば感じない」が最も多い(44.4%)。その他の地域では「どちらかといえば感じる」が多く、回答数5で80.0%の鶴見北地域を除き、最多は鶴見地域(76.9%)。

問6 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかとい えば 感じない	感じない	無 回 答
回答者計（名）	481	185	255	27	7	7
回答者計（%）	100.0	38.5	53.0	5.6	1.5	1.5



【前回調査との比較】

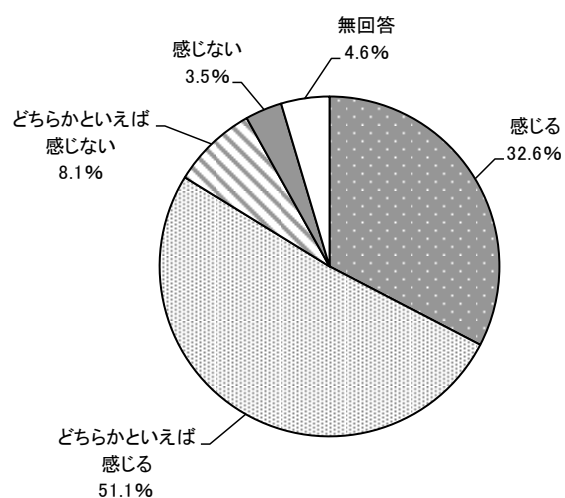


- 【全体的傾向】 「感じる」(38.5%)、「どちらかといえば感じる」(53.0%)と91.5%の方が、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じている。
- 【経年比較】 令和2年度調査、令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は60歳代(59.7%)。次いで、「感じる」が多く、最多は30歳未満(45.3%)。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年未満(57.1%)。
- 【地域別傾向】 鶴見北地域、茨田西地域、横堤地域では「感じる」「どちらかといえば感じる」が同数(それぞれ46.2%、45.5%、46.8%)であった。その他の地域では「どちらかといえば感じる」が多く、最多は焼野地域(66.7%)。

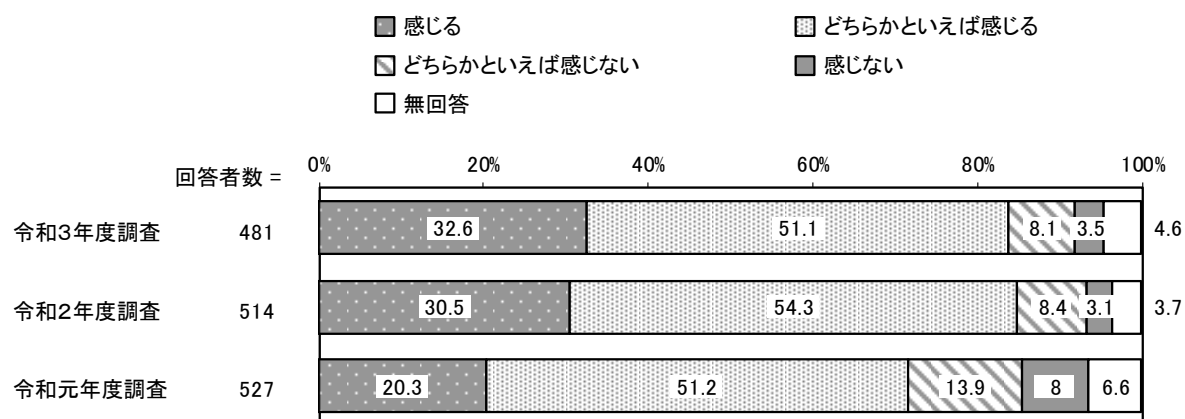
3. 子育てについて

問7 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計 (名)	481	157	246	39	17	22
回答者計 (%)	100.0	32.6	51.1	8.1	3.5	4.6



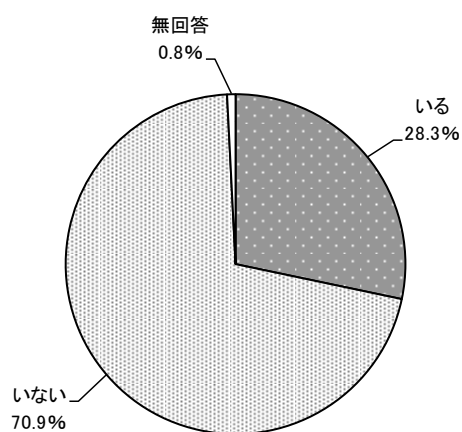
【前回調査との比較】



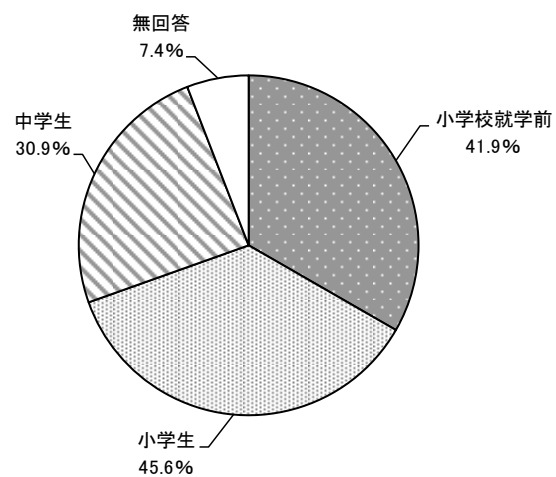
- 【全体的傾向】 「感じる」(32.6%)、「どちらかといえば感じる」(51.1%)と83.7%の方が鶴見区は子育てがしやすいまちと感じている。
- 【経年比較】 令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。また、令和元年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加している。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は60歳代(62.5%)。次いで「感じる」と答えた方が全ての年代で多く、最多は40歳代(43.4%)。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年未満(57.1%)。
- 【地域別傾向】 荻田西地域では「感じる」が最も多い(48.5%)。その他の地域では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は榎本地域(64.4%)。

問8 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。
(1つ選んでください)

	n 数	い る	い な い	無 回 答
回答者計 (名)	481	136	341	4
回答者計 (%)	100.0	28.3	70.9	0.8



	n 数	小 学 校 就 学 前	小 学 生	中 学 生	無 回 答
回答者計 (名)	136	57	62	42	10
回答者計 (%)	100.0	41.9	45.6	30.9	7.4

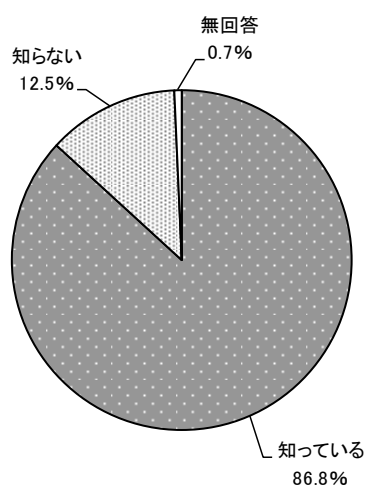


【全体的傾向】 中学生以下のお子さまがいらっしゃるの28.3%。その中で、小学生が最も多い(45.6%)。

問9 (問8で「1 いる」と回答された方へ)

区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。(1つ選んでください)

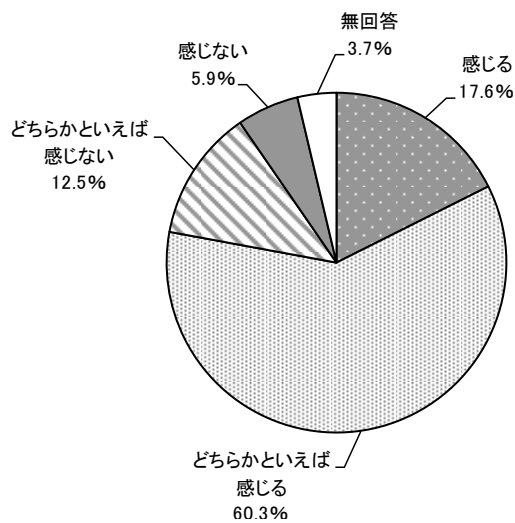
	n 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
回答者計 (名)	136	118	17	1
回答者計 (%)	100.0	86.8	12.5	0.7



- 【全体的傾向】 86.8%の方が区や所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを「知っている」と回答している。
- 【年齢別傾向】 多くの年代で「知っている」が最も多く、50 歳代では 100.0%が知っていた。60 歳代では「知らない」(66.7%) が最も多い。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知っている」が最も多く、最多は1 年以上5 年未満 (90.5%)。
- 【地域別傾向】 全ての地域で「知っている」が最も多く、鶴見北地域、鶴見地域、荻田南地域では 100.0%が知っていた。

(問 8 で「1 いる」と回答された方へ)
 問 10 あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。
 (1 つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえ ば 感じない	感じない	無回 答
回答者計 (名)	136	24	82	17	8	5
回答者計 (%)	100.0	17.6	60.3	12.5	5.9	3.7

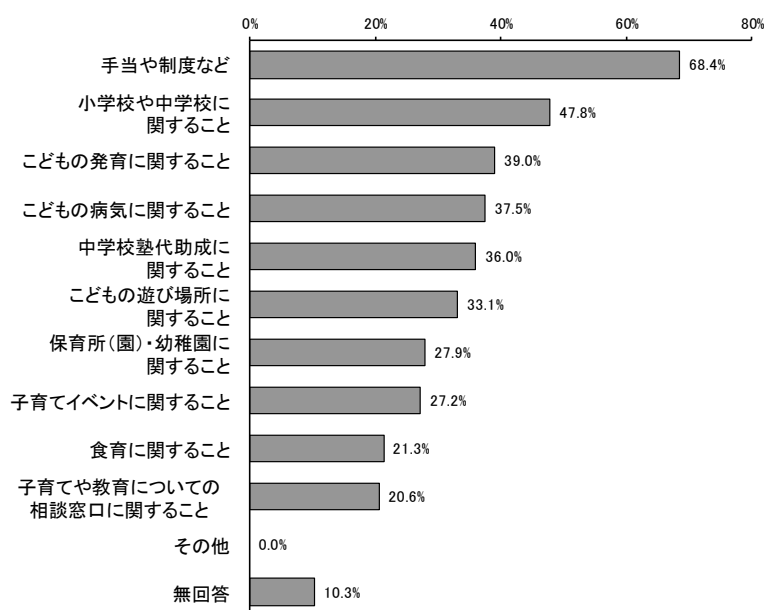


- 【全体的傾向】 「感じる」(17.6%)、「どちらかといえば感じる」(60.3)と 77.9%の方が子育てに関する必要な情報を入手できていると感じている。
- 【年齢別傾向】 30 歳未満から 60 歳代で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は 30 歳代 (78.4%)。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は 1 年未満 (66.7%)。
- 【地域別傾向】 全ての地域で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は茨田北地域 (72.7%)。

問 11 (問 8 で「1 いる」と回答された方へ)

鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS (フェイスブック、ツイッター) を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。(いくつでも選んでください)

	n 数	手当や制度など	食育に関すること	こどもの発育に関すること	こどもの病気に 関すること	子育てイベントに 関すること	こどもの遊び場 所に 関すること	子育てや教育について の 相談窓口に関する こと	保育所(園)・幼稚園に 関すること	小学校や中学校に 関すること	中学校塾代助成に 関すること	その他	無回答
回答者計 (名)	136	93	29	53	51	37	45	28	38	65	49	-	14
回答者計 (%)	100.0	68.4	21.3	39.0	37.5	27.2	33.1	20.6	27.9	47.8	36.0	-	10.3



【全体的傾向】 全体では「手当や制度など」が最も多い(68.4%)。

【年齢別傾向】 全ての年代で「手当や制度など」が最も多く、最多は 30 歳代(81.1%)。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「手当や制度など」が最も多く、最多は 1 年未満(83.3%)。

【地域別傾向】 全ての地域で「手当や制度など」が多く、最多は茨田南地域(90.9%)。

〔「その他」と回答された方のご意見(抜粋)〕

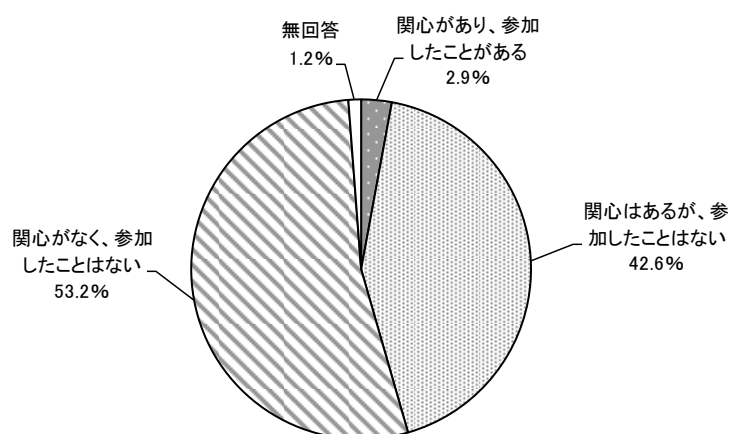
- ・鶴見緑地がすぐ近くにあるのですが、校区外、校区内に自由に遊べる公園がない
- ・しつけ

4. まなびを通じたつながりづくりについて

問 12 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。

あなたはこれらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。（1つ選んでください）

	n 数	参加 したことが あり、 関心がある	参加 したことは ないが、 関心はある	参加 したことは なく、 関心はない	無 回 答
回答者計（名）	481	14	205	256	6
回答者計（%）	100.0	2.9	42.6	53.2	1.2



【全体的傾向】 「関心がなく、参加したことはない」（53.2%）が最も多く、次いで「関心はあるが、参加したことはない」（42.6%）が多い。

【年齢別傾向】 30歳未満から50歳代までは「関心がなく、参加したことはない」が最も多く、最多は30歳未満（79.2%）。60歳代では「関心はあるが、参加したことはない」（55.6%）が最も多く、70歳以上では参加したことがある方も含め、48.2%が関心を持っている。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「関心がなく、参加したことはない」が最も多く、最多は1年未満（92.9%）。

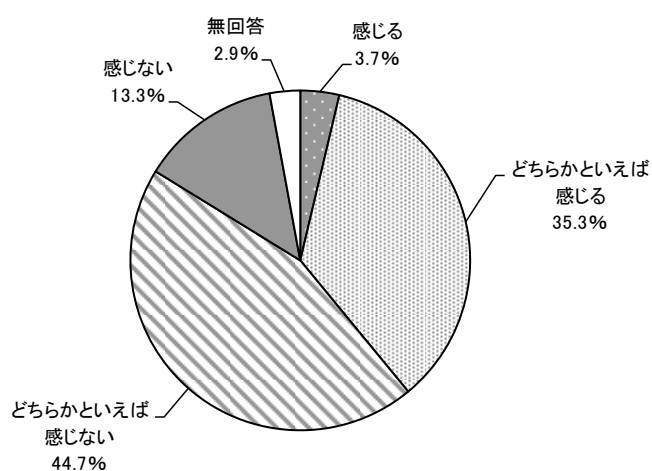
【地域別傾向】 茨田東地域、茨田北地域では「関心はあるが、参加したことはない」が最も多い（それぞれ56.5%、63.3%）。その他の地域では「関心がなく、参加したことはない」が最も多く、最多は鶴見北地域（61.5%）。榎本地域では「関心はあるが、参加したことはない」と「関心がなく、参加したことはない」が同数（49.2%）であった。

〔参加したことがある取組み（抜粋）〕

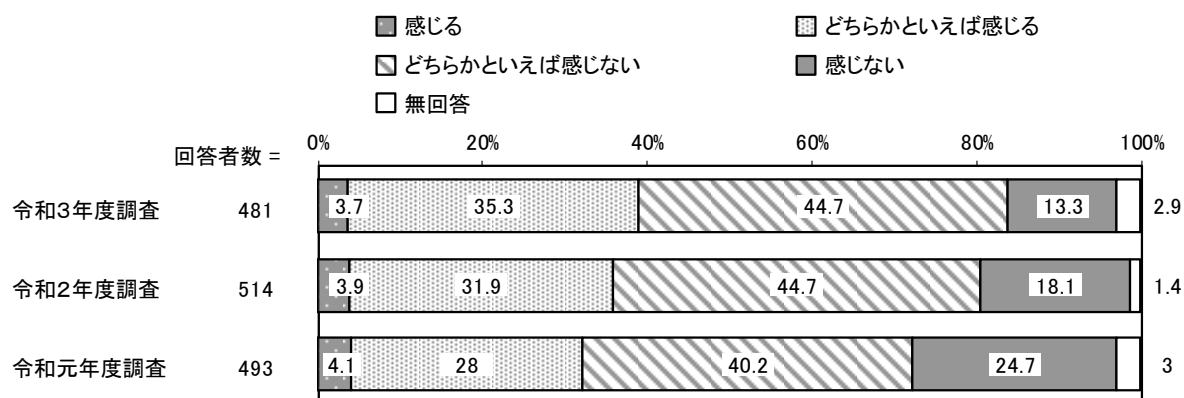
- ・人権啓発推進セミナー
- ・人権学習会
- ・ペップトーク
- ・自身が勤務する自治体のものには参加している
- ・PTAの人権委員活動

問 13 あなたは鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。
(1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえば 感じない	感じない	無回答
回答者計 (名)	481	18	170	215	64	14
回答者計 (%)	100.0	3.7	35.3	44.7	13.3	2.9



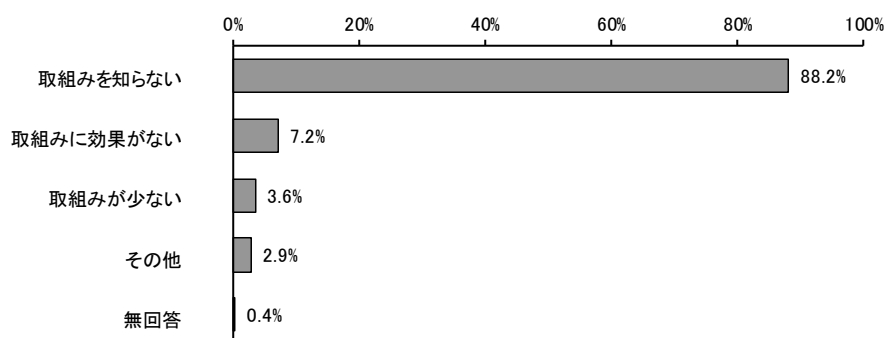
【前回調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(3.7%)と、「どちらかといえば感じる」(35.3%)を合わせると、39.0%の方が人権尊重のまちづくりが進んでいると感じている。
一方、「どちらかといえば感じない」(44.7%)と、「感じない」(13.3%)を合わせると、58%の方が人権尊重のまちづくりが進んでいると感じていない。
- 【経年比較】 令和2年度調査、令和元年度調査と比較すると、“感じる”の割合が年々増加している。
- 【年齢別傾向】 30歳代では「どちらかといえば感じる」(54.4%)が最も多い。その他の年代では「どちらかといえば感じない」が最も多く、最多は50歳代(51.5%)。
- 【居住年数別傾向】 1年未満では「どちらかといえば感じる」「感じない」が同数(35.7%)であった。その他の居住年数では「どちらかといえば感じない」が最も多く、最多は10年(46.6%)。
- 【地域別傾向】 榎本地域、茨田東地域、茨田北地域、焼野地域では「どちらかといえば感じる」が最も多い(それぞれ44.1%、43.5%、46.7%、33.3%)。その他の地域では「どちらかといえば感じない」が最も多く、最多は鶴見北地域(57.7%)。

問 14 (問 13で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。
(いくつでも選んでください)

	n 数	取組みが 少ない	取組みを 知らない	取組みに 効果がない	その他	無回答
回答者計 (名)	279	10	246	20	8	1
回答者計 (%)	100.0	3.6	88.2	7.2	2.9	0.4



【全体的傾向】 「取組みを知らない」(88.2%) が最も多い。

【年齢別傾向】 全ての年代で「取組みを知らない」が多く、最多は50歳代(93.9%)。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「取組みを知らない」が多く、最多は5年以上10年未満(89.7%)。「取組みが少ない」と回答したのは10年以上のみ(4.7%)で、その他の居住年数は「取組みに効果がない」、「その他」と回答。

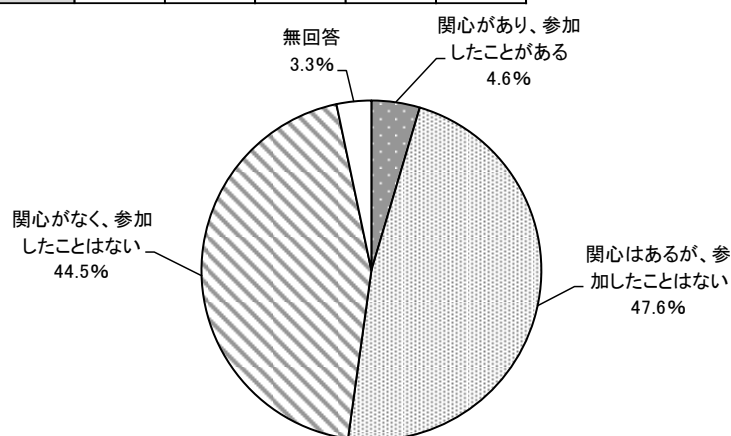
【地域別傾向】 全ての地域で「取組みを知らない」が最も多く、最多は茨田北地域(100%)。鶴見北地域では、「取組みが少ない」、「取組みに効果がない」が同数(5.6%)となっている。

〔「その他」と回答された方のご意見(抜粋)〕

- ・取り組みはしているが、詳細まで知らず生活に溶け込んでいないように思う。
- ・関心がない ・見た事がない
- ・鶴見区に住んで19年になります。
後期高齢者となった今は、人との接触も少なく、考えられないです。

問 15 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。
あなたはこれらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。
(1 つ選んでください)

	n 数	参加したことがあり、 関心がある	参加したことはあるが、 関心はない	参加したことがなく、 関心はない	無回答
回答者計 (名)	481	22	229	214	16
回答者計 (%)	100.0	4.6	47.6	44.5	3.3



【全体的傾向】 「関心はあるが、参加したことはない」(47.6%) が最も多い。

【年齢別傾向】 50 歳以上では「関心はあるが、参加したことはない」が最も多く、最多は 50 歳代 (57.3%)。30 歳未満から 40 歳代では「関心がなく、参加したことはない」が最も多く、最多は 30 歳未満 (75.5%) と年代が低い程、関心が低い傾向が見られる。

【居住年数別傾向】 1 年以上 5 年未満、10 年では「関心はあるが、参加したことはない」が最も多く (それぞれ 56.4%、48.3%)、1 年未満、5 年以上 10 年未満では「関心がなく、参加したことはない」(それぞれ 92.9%、52.0%) が最も多い。

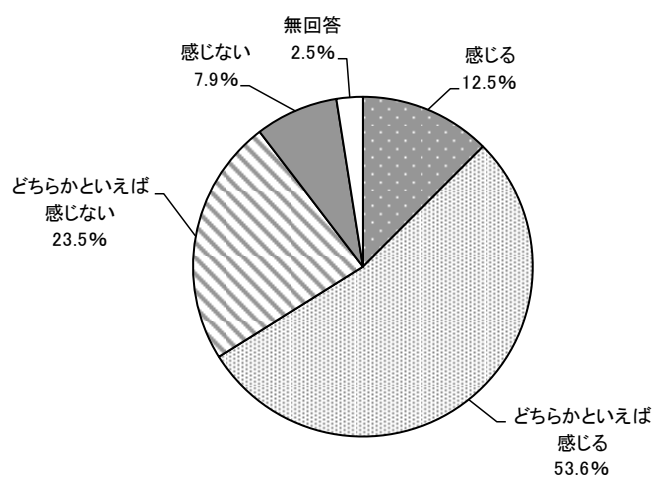
【地域別傾向】 「関心はあるが、参加したことはない」が最も多いのは焼野地域 (61.1%)、「関心がなく、参加したことはない」が最も多いのは茨田南地域 (51.0%)。

〔参加したことがある取組み (抜粋)〕

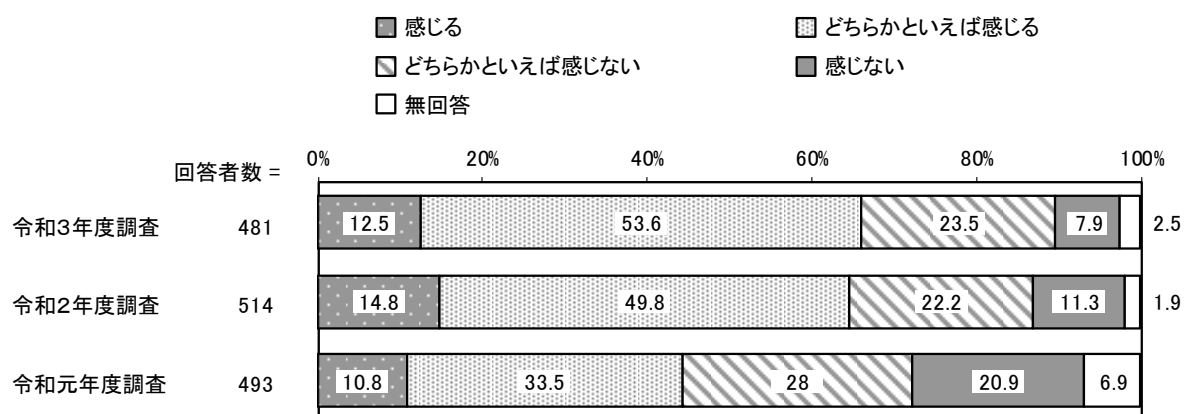
- ・はぐくみネット
- ・生涯学習ルーム
- ・おもてなし茶会
- ・生涯学習ルームフェスティバル
- ・バドミントン、生け花

問 16 あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。（1つ選んでください）

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえば 感じない	感じない	無 回 答
回答者計（名）	481	60	258	113	38	12
回答者計（%）	100.0	12.5	53.6	23.5	7.9	2.5



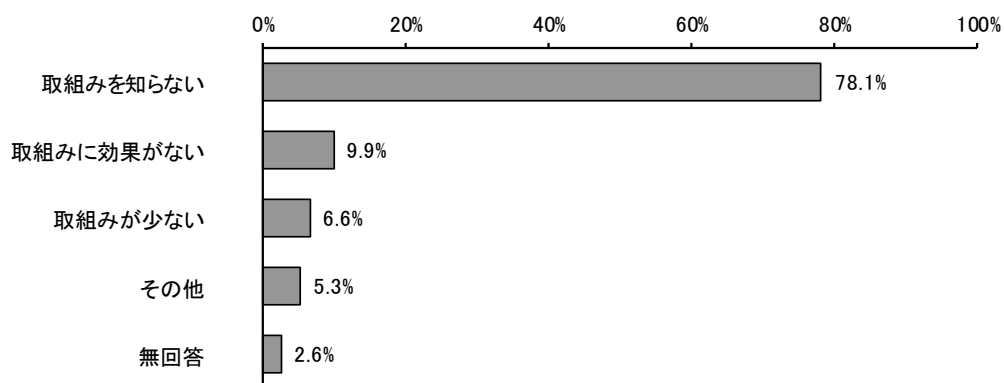
【前回調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(12.5%)、「どちらかといえば感じる」(53.6%)と66.1%の方がまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じている。
- 【経年比較】 令和2年度調査、令和元年度調査と比較すると、“感じる”の割合が年々増加している。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は40歳代(59.4%)。次いで、全ての年代で「どちらかといえば感じない」が多い。
- 【居住年数別傾向】 1年未満では「どちらかといえば感じる」と「感じない」が同数(42.9%)であった。その他の居住年数は「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年以上5年未満(61.8%)。
- 【地域別傾向】 全ての地域で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は茨田西地域(63.6%)。茨田北地域では「感じる」と「どちらかといえば感じない」が同数(16.7%)であり、茨田東地域、焼野地域、茨田西地域では「感じる」が「どちらかといえば感じない」より多い。その他の地域では「どちらかといえば感じない」が「感じる」を上回っている。

(問16で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
 問17 まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。
 (いくつでも選んでください)

	n 数	取組みが 少ない	取組みを 知らない	取組みに 効果がない	その他	無回答
回答者計 (名)	151	10	118	15	8	4
回答者計 (%)	100.0	6.6	78.1	9.9	5.3	2.6



【全体的傾向】 「取組みを知らない」(78.1%) が最も多い。

【年齢別傾向】 全ての年代で「取組みを知らない」が最も多く、最多は30歳未満、30歳代(それぞれ88.9%)。30歳代、60歳代では、「取組みが少ない」が「取組みに効果がない」より多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「取組みを知らない」が最も多く、最多は1年以上5年未満(100.0%)。「取組みが少ない」と回答しているのは10年以上のみ(7.8%)。

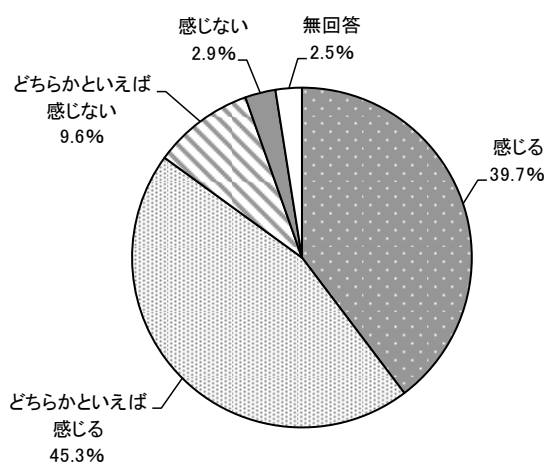
【地域別傾向】 全ての地域で「取組みを知らない」が最も多く、最多は緑地域、茨田北地域(100.0%)。

【「その他」と回答された方のご意見(抜粋)】

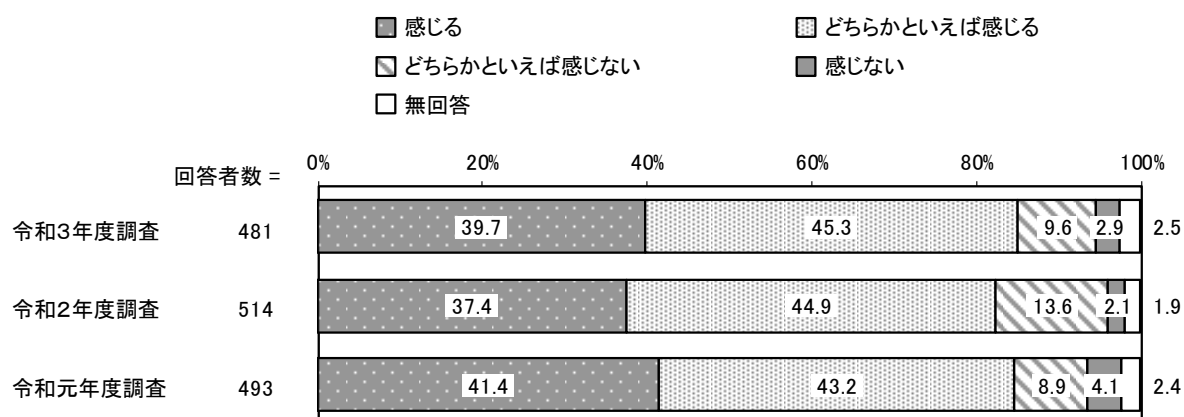
- ・ 関心がない
- ・ そんなに簡単に関わったとしてもつながりができるとは思わない
- ・ まなびと人との関りやつながりとが何の関係があるのか理解できない

問 18 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。
(1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば 感じる	どちらかといえば 感じない	感じない	無回答
回答者計 (名)	481	191	218	46	14	12
回答者計 (%)	100.0	39.7	45.3	9.6	2.9	2.5



【前回調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(39.7%)、「どちらかといえば感じる」(45.3%)と、85.0%の方が鶴見区は花や緑あふれるまちだと感じている。
- 【経年比較】 令和2年度調査、令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。
- 【年齢別傾向】 30歳代では「感じる」(57.9%)が最も多い。その他の年代では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は60歳代(52.8%)。
- 【居住年数別傾向】 1年未満では「感じる」(50.0%)が最も多い。1年以上では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年以上5年未満(47.3%)。
- 【地域別傾向】 緑地域、荻田地域、荻田東地域、焼野地域、荻田西地域は「感じる」が最も多く、最多は荻田西地域(63.6%)。その他の地域は「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は榎本地域(59.3%)。

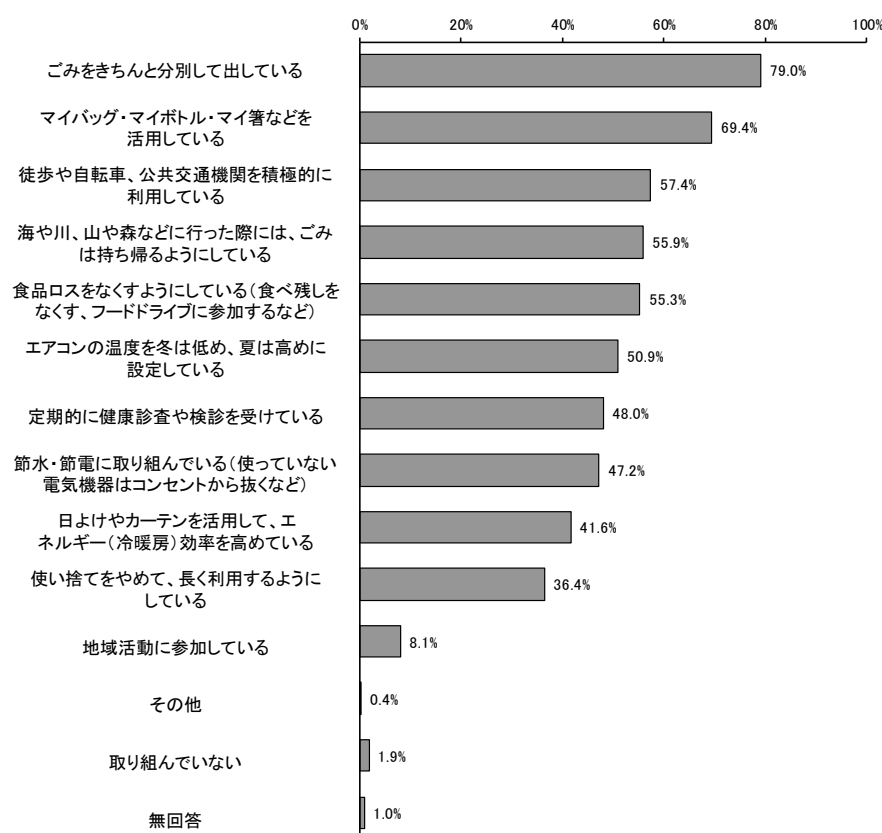
問19 あなたは、SDGsの達成に向けて日頃から取り組んでいることはありますか。
(いくつでも選んでください)

	n 数	食品ロスをなくすようにしている（食べ残しをなくす、フードドライブに参加するなど）	電気機器はコンセントから抜くなど）	節水・節電に取り組んでいる（使っていない電気機器はコンセントから抜くなど）	エアコンの温度を冬は低め、夏は高めに設定している	日よけやカーテンを活用して、エネルギー（冷暖房）効率を高めている	マイバッグ・マイボトル・マイ箸などを活用している	使い捨てをやめて、長く利用するようにしている	ゴミをきちんと分別して出している	徒歩や自転車、公共交通機関を積極的に利用している	定期的に健康診査や検診を受けている
回答者計（名）	481	266	227	245	200	334	175	380	276	231	
回答者計（％）	100.0	55.3	47.2	50.9	41.6	69.4	36.4	79.0	57.4	48.0	

	持ち帰るようにしている	海や川、山や森などに行った際には、ごみは	地域活動に参加している	その他	取り組んでいない	無回答
回答者計（名）	269	39	2	9	5	
回答者計（％）	55.9	8.1	0.4	1.9	1.0	

※SDGs とは

未来のために地球上のさまざまな問題の解決をめざす、世界共通の17の目標のことで、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。2030年までに世界中の国がひとつになって達成することをめざしています。



- 【全体的傾向】 「ごみをきちんと分別して出している」(79.0%) が最も多い。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「ごみをきちんと分別して出している」が最も多く、最多は50歳代(87.4%)。
- 【居住年数別傾向】 1年未満では「マイバッグ・マイボトル・マイ箸などを活用している」と「ごみをきちんと分別して出している」と「徒歩や自転車、公共交通機関を積極的に利用している」が同数(64.3%)であった。1年以上5年未満では「マイバッグ・マイボトル・マイ箸などを活用している」が最も多く(81.8%)、その他の居住年数では「ごみをきちんと分別して出している」が最も多く、最多は5年以上10年未満(82.0%)。
- 【地域別傾向】 鶴見地域では「マイバッグ・マイボトル・マイ箸などを活用している」が最も高い(67.5%)。その他の地域では「ごみをきちんと分別して出している」が最も多く、最多は茨田地域(93.1%)。

5. 鶴見区全般について

問 20 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【子育てに関すること】

- 保育園を0才から無償化
- 子どもの遊び場の充実
- 子ども庁の創設
- 子育てプラザや区役所、ボランティア会場などの開催場所へのアクセス改善

【高齢者に関すること】

- 高齢者の独居世帯への声かけ
- 身内の認知症患者が徘徊した際に頼れる機関を設置
- 中心部へのスーパー設置
- 移動販売車の商品の種類を増加
- 高齢者が積極的に参加出来るイベントの実施

【防犯に関すること】

- 防犯カメラ設置家庭に対する補助金の支給
- 商店街における空き店舗の改善
- 夜間のパトロールの実施
- 街灯の設置
- 歩道の拡大、自転車と歩行者の区分け
- 道路の整備

【まちの美化に関すること】

- ゴミステーションの設置
- 近所の人と協力して花の苗植え

【交通マナーに関すること】

- 警察による路上駐車・路上駐輪の取り締まりを強化
- 注意喚起の告知POP等の設置
- 路上喫煙禁止を徹底する取り組み
- 学校での交通安全教室の開催

【鶴見緑地に関すること】

- 鶴見緑地を利用して SDG'S を実際の体験を交えて学ぶことができるイベント
- 鶴見緑地を利用しキッチンカーのマルシェ新設
- 遊具の増設

【その他】

- SNSを有効活用し、鶴見区のイベント情報や防犯状況を区民が気軽に見たり知ることができるシステムを設置
- 鶴見緑地以外の公園（小さなコミュニティの場）の保護
- 1 人世代に向けた仲間づくりの場
- 犬・猫の里親会の実施
- 区民が無料または安い料金で通えるパソコン教室・高齢者が学べるスマホ教室の開設
- 帰化した外国人への老後年金問題対策
- 駅前に商業ビルを設置
- 増加した外国人労働者に対するパトロール強化